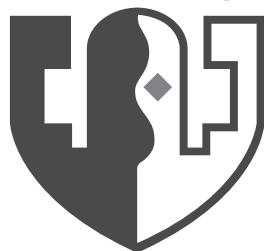


第44回全日本トライアスロン皆生大会 競技説明資料

BRAVE & TRUE



第44回 全日本トライアスロン 皆生大会 *KAIKE TRIATHLON*

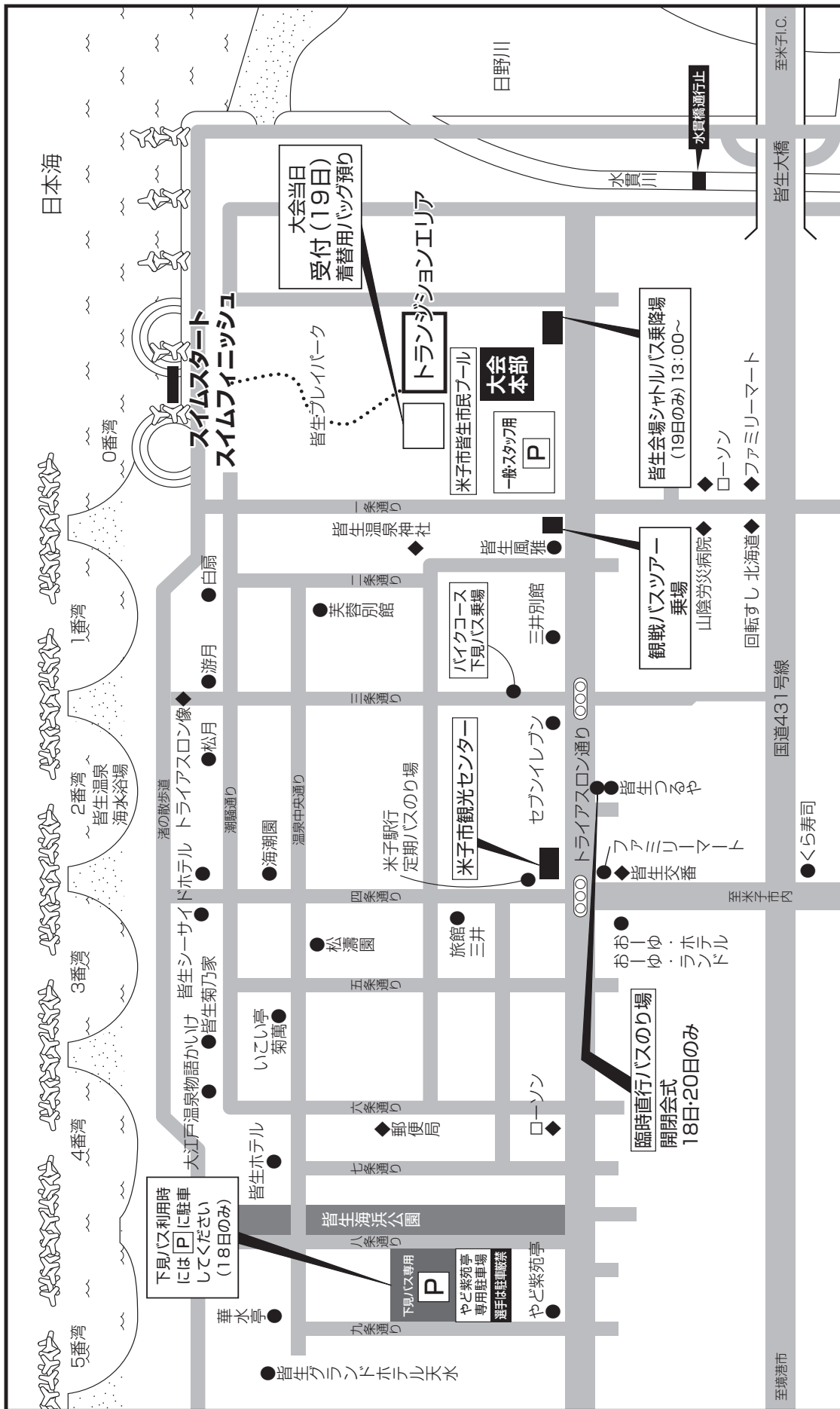
説明資料記載内容をよく理解され、楽しく安全な大会となるよう努めてください。

会場周辺図1 (大会本部/どらドラパーク米子陸上競技場)	1
会場周辺図2 (皆生会場及び皆生温泉旅館等配置図)	2
広域図 (皆生温泉から開会式・閉会式会場まで)	3
会場周辺図3 (開会式・閉会式会場周辺図) / 開会式・閉会式会場配置図 (米子コンベンションセンター)	4
開会式・閉会式会場及び皆生会場、東山会場間の交通手段について	5
大会スケジュール	7
大会当日の流れ	9
トランジション周辺図	10
IDバンド、レースナンバー取り付けについて	11
各競技について (注意事項)	
○スイムの部	12
○バイクの部	13
○ランの部	14
○トランジションエリア	14
○エイドステーション (AS)	14
○医療救急	15
○リタイア及び失格	15
○リレーの部	16
緊急時対応マニュアル	17
表彰及び支給品	18
全日本トライアスロン皆生大会競技規則	19
選手専用駐車場	23

会場周辺図2

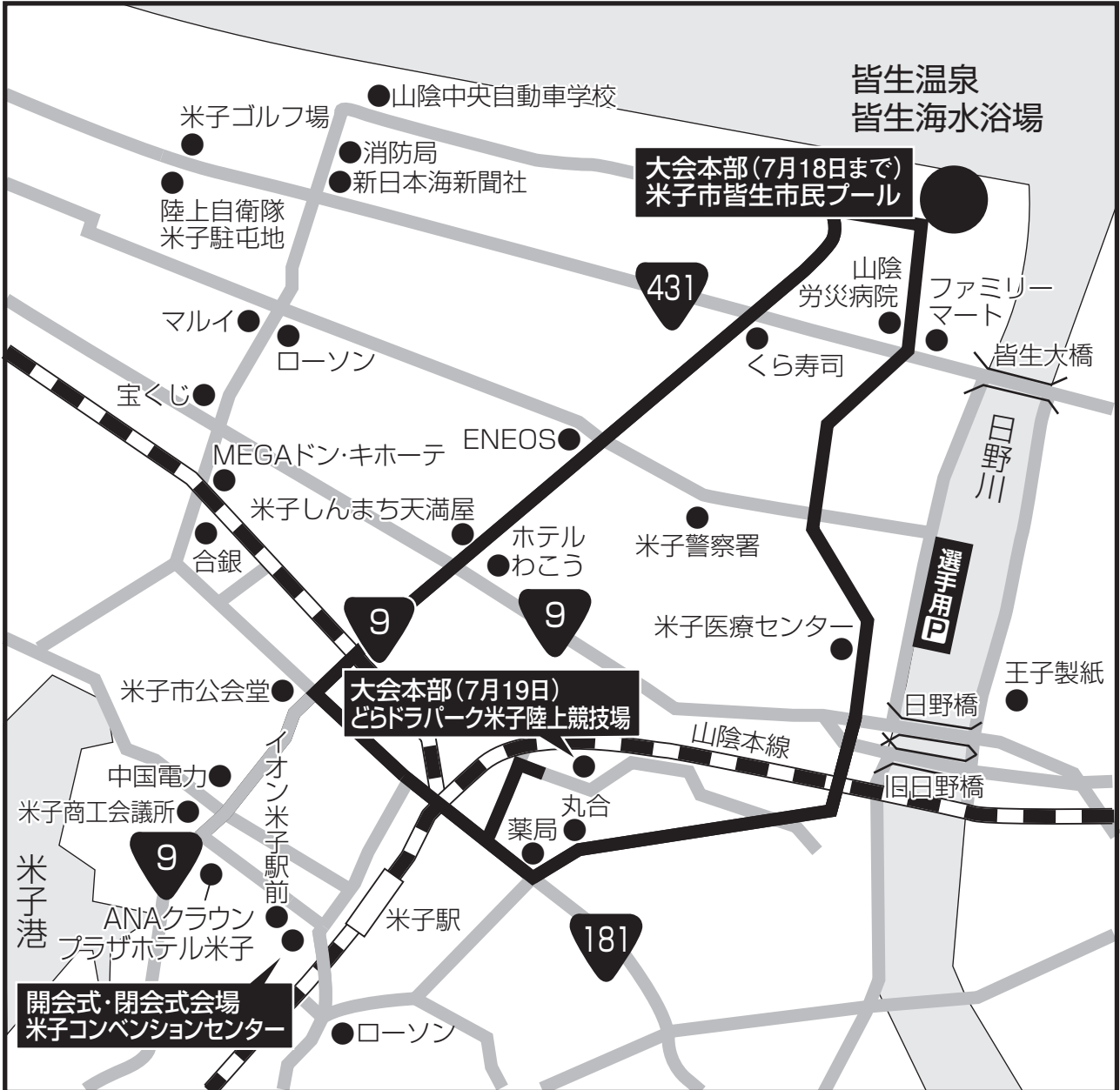
(皆生会場及び皆生温泉旅館等配置図)

※選手の駐車場は日野川運動公園の1ヶ所です。(詳細はP.23)



広 域 図

(皆生温泉から開会式・閉会式会場まで)



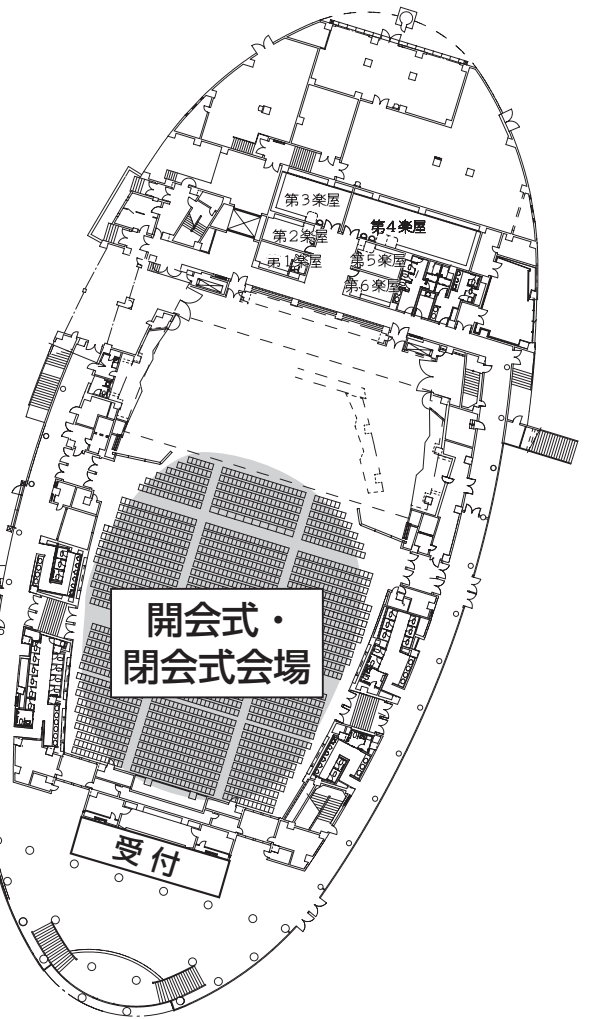
- ◎皆生温泉(大会本部)から開会式・閉会式会場(米子コンベンションセンター)まで ……約5.5km
- ◎皆生温泉(大会本部)からどらドラパーク米子陸上競技場まで…………… 約4km
- ◎皆生温泉(大会本部)から選手専用駐車場まで…………… 約2km

会場周辺図 3 / 開会式・閉会式会場配置図

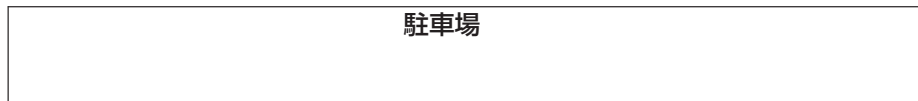
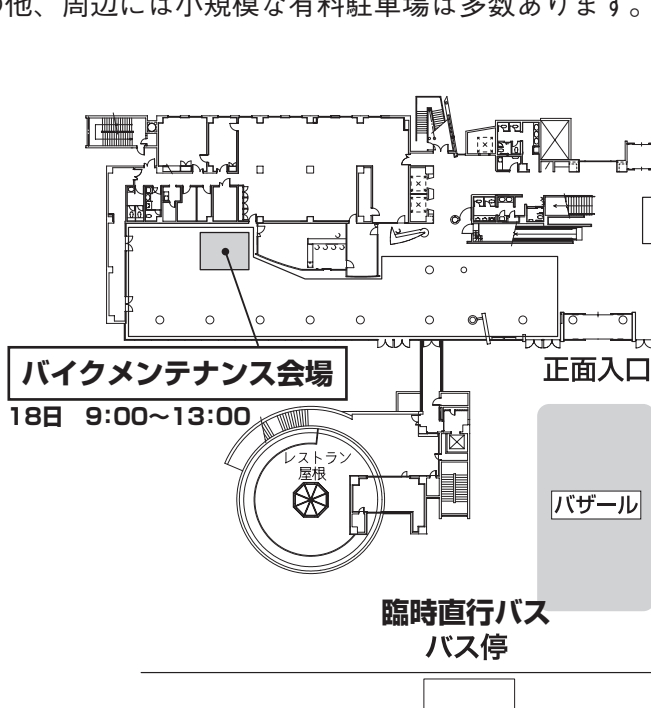
(開会式・閉会式会場周辺)



(米子コンベンションセンター)



この他、周辺には小規模な有料駐車場は多数あります。



東山会場、皆生会場間 臨時シャトルバス（19日のみ）

東山会場（東山陸上競技場）と皆生会場間の無料シャトルバスです。
選手及びそのご家族、応援の方はご利用ください。

13：00～22：30の間 15～30分間隔で運行いたします。

皆生会場シャトルバス乗降場



東山会場シャトルバス乗り場

発着場については、会場周辺図 1.2 をご参照ください。

■定期バスの場合

米子市観光センターから JR 米子駅間の定期バスがご利用になれます。運賃は片道 300 円です。
米子駅までの所要時間は、おおむね 20 分です。（バス停の名称は、皆生温泉観光センターです）

観光センター発	8：42	9：15	9：42
	9：57	10：19	10：27
	10：57	11：12	11：42
	11：52	11：59	12：27
	13：12	13：39	14：08

米子駅発	14：33	15：18	15：33
	15：51	16：03	16：18
	16：33	16：48	17：18
	17：33	17：48	18：18
	18：33	18：48	19：18



※皆生温泉観光センターで下車してください。

■米子空港連絡バス時刻表

JR 米子駅～米子空港の連絡バス時刻表です。

接続便	米子駅発	空港着
382 便	6：20	6：45
384 便	7：20	7：45
386 便	9：40	10：05
1088 便	12：35	13：00
388 便	16：00	16：25
390 便	18：50	19：15

1. 大会スケジュール

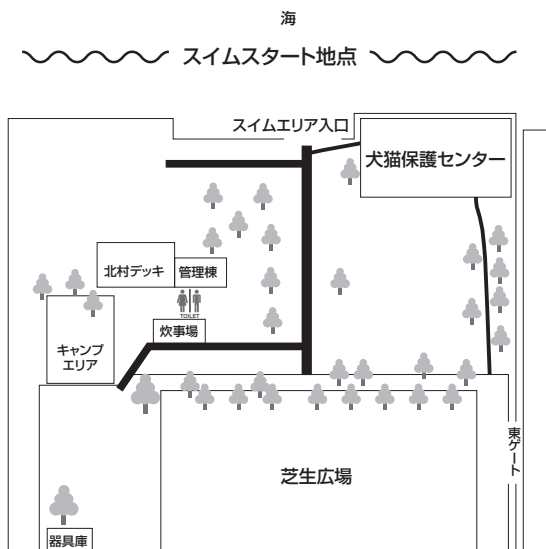
日付	時間	場所	項目
7月18日(土) バイクコース下見	10:00~12:30	バイクコース	下見バスが米子市観光センター裏駐車場入口=会場周辺図2参照=から出発します。車の方は 下見バス専用P にとめてください。
レース攻略&栄養補給セミナー	10:30~12:00 12:30~14:00	米子コンベンションセンター 6階第7会議室	【参加無料】 どなたでもご参加いただけます。参加をご希望の方は、当日直接会場までお越しください。
選手登録	14:00~15:00	米子コンベンションセンター	未登録者は失格 となりますので全員が時間内に登録してください。 受付終了後、一時的に外出する場合は、受付資料を必ず会場内の座席に置いて外出してください。
開会式・競技説明会 競技説明会終了後、[リレーの部]	15:00~16:30	同 の競技説明	開会式、競技説明会は義務出席です。 [リレーの部] 出場者は義務出席です。 (1組1人以上但し全員が望ましい。)
7月19日(日) スイム競技可否決定	5:00(HPにて発表)		スイム競技の可否を決定します。スイム競技中止の場合、代替競技として1stランを実施します。 最終受付は必須。 時間内に受付を済ませないと失格対象となります。
最終受付	5:30~ 6:20		①バイク用具・マラソン用具は、各指定のトランジションバッグに入れ荷物ラックに掛けてください。 ②競技に不必要な荷物は体育館の荷物置き場に置いてください。(1人につきバッグは1つのみ。貴重品は置かないでください。) ③受付と同時にアンクルバンドと付属のゴムバンドを受け取り、自分のレースNo.とIDバンドのNo.が一致しているか必ず確認してください。 ④ランフィニッシュ後の着替えバッグを預けてください。(着替えバッグは最終フィニッシュ後、引き渡します。)(バッグ預託はプール裏) ⑤アンクルバンドを装着してください。 ●銀色の面が表、黄色のジャージ面が裏(肌に接する方)となるように、左右どちらかの足首にピッタリと巻いてください。強力なマジックテープとなっていますが、安全のために付属のゴムバンドをその上から装着してください。ウェットスーツ着用の場合はウェットスーツの下に装着してください。
<p>ナンバリング(ボディーマーキング)は、各自にてお願いします。(P.8参照) なお、どうしても出来ない方は、当日の朝、受付にて行いますが混雑が予想されます。</p>			
			
			
<p>※アンクルバンド未返納者には実費5千円を徴収します。 ※リタイア(DNF)した選手は、バンドを付けたまま計測地点のそばに行かないように注意してください。 DNF選手はアンクルバンドを必ず審判本部へ本人が持参してください。</p>			

日付	時間	場所	項目
入水チェック	6:20 ~ 6:40	スイム会場	入水チェックは、スイムエリアで計測します。(P10 トランジション周辺図参照) 最終エントリーとなります。 入水チェックを受けないと失格になります。 入水チェック後は、スタートエリアから出ることが出来ません。 スイム競技最終タイムアップ スタート後2時間
ウォーミングアップ終了 競技スタート	6:45 A-1 7:00 (1 ~ 399) A-2 7:05 (400 ~ 最終) B・リレー 7:10 15:30		
1st ランの場合	19:30 21:30 7:40 (一斉スタート)		バイク競技最終タイムアップ A・リレー スタート後8時間30分 B スタート後8時間20分 ラン競技最終タイムアップ B スタート後12時間20分 A・リレー スタート後14時間30分 スイム競技中止の場合
7月20日(月) 総合窓口	9:30 ~ 10:00	米子コンベンションセンター	閉会式の受付を行いますので、必ず時間内に受付を済ませてください。
表彰式、閉会式 アフターパーティー	10:00 ~ 10:40 10:40 ~ 11:40		受付時に申し込んでください。

※バイクメンテナンスは下記の通り行います。

7月18日(土) 9:00~13:00、米子コンベンションセンター

両会場とも有料(2,000円/パーツ代別途)。またレース中にバイクサポートを受けて、費用が発生した場合は米子コンベンションセンターにて必ず精算を行ってください。



2. 大会当日(7月19日)の流れ

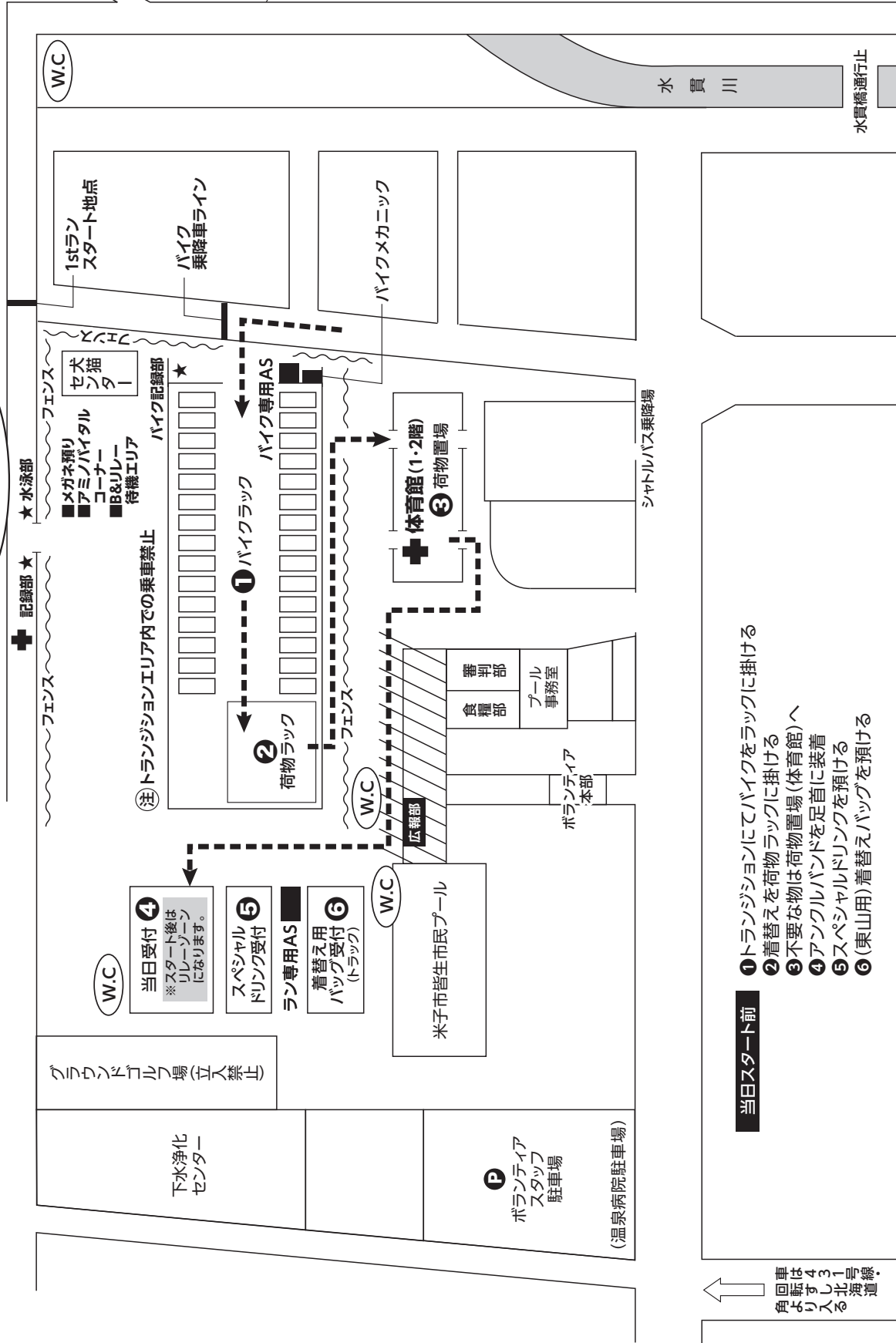
項 目	内 容					
受 付	<ul style="list-style-type: none"> ① トランジションエリア立ち入り。 バイクをラックに掛ける（サドルはレースナンバーが見えるように掛ける）。 ② 荷物ラックにバイク用・ラン用のトランジションバッグを掛ける。 （ヘルメット、バイクシューズも収納。バイクシューズはペダルへの装着可。） ③ 競技に不必要な荷物を体育館の荷物置き場に置く。荷物ラックエリアには支給されたバッグ以外置かない。 ④ 最終受付を行う。アンクルバンドの受け取りと装着する。 ⑤ スペシャルドリンク（レースナンバー、氏名を記入しバイク、ランと分け）を預ける。〈希望者のみ〉 ⑥ フィニッシュ後の衣替用バッグを預ける。 ①～⑥の場所は次頁地図内番号を参照。 <p>6：40 までに全員入水チェック（メガネ預かりあり）</p>					
アップ終了 スイムスタートエリアで 待機						
スイムスタート						
中間ポイント（浜へ上陸）	通過チェック					
スイムフィニッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ① タイムチェック ② メガネを受け取る（預託者のみ） 					
トランジションエリア	<ul style="list-style-type: none"> ① 更衣を済ませウェットスーツ、キャップ、ゴーグルをトランジションバッグに入れ荷物ラックに掛ける。 ② ヘルメットをかぶる。（ストラップを締める） ③ バイクを乗車ラインまで曳く。 選手の片足が乗車ラインを超えた後、完全に片足が地面についてから乗車する。 					
バイクスタート	バイク降車は、降車ライン手前の地面に、片足が完全についてから降車しなければならない。					
バイクフィニッシュ	① バイクを曳き、バイクラックに掛ける。					
トランジションエリア	② ヘルメットを脱ぎ、更衣を済ませバイク用品をトランジションバッグに入れ荷物ラックに掛ける。					
ランスタート						
折返し	① <u>折返し確認用リストバンドを受け取る（必須）</u>					
ランフィニッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ① アンクルバンド及び折返し確認用リストバンドを返却 ② 着替用バッグを受け取る ③ 輸送バスで皆生会場へ。 バイク、荷物のピックアップを行う。 					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ピックアップ時間</td> <td style="text-align: center;">19日</td> <td style="text-align: center;">16：00～23：00</td> <td style="text-align: center;">20日</td> <td style="text-align: center;">8：30～12：00</td> </tr> </table>	ピックアップ時間	19日	16：00～23：00	20日	8：30～12：00
ピックアップ時間	19日	16：00～23：00	20日	8：30～12：00		

※夜間や暗い時間帯のバイクの無灯火は、交通違反として罰則対象となります。

トランジション周辺図

日本海

スイム
スタート/フィニッシュ
スイム緊急対策本部



当日スタート前

- ① トランジションにてバイクをラックに掛ける
- ② 着替えを荷物ラックに掛ける
- ③ 不要な物は荷物置場(体育館)へ
- ④ アンクルバンドを足首に装着
- ⑤ スペシャルドリンクを預ける
- ⑥ (東山用)着替えバッグを預ける

↑
車は431号線
回転すし北海道
角より入る

3. IDバンド、レースナンバー取り付けについて

◆参加者への支給品

- ①スイムキャップ
- ②レースナンバー 3枚 (安全ピン 12本付)
- ③レースナンバーシール 3枚 (バイク用2枚・ヘルメット用1枚)
- ④トランジションバッグ 3枚
- ⑤IDバンド
- ⑥その他

◆IDバンドについて

IDバンドは、選手1名につき1つ支給します。

大会期間中は、手首に装着してください。(競技終了後まで取りはずし不可)

尚、選手登録時に本人確認後装着します。リレーの部は代表者に渡します。

詳細は競技説明会で説明いたします。

選手登録、バイクのピックアップ、トランジションエリア内への出入り等で必要となります。

◆バイクの前日預託は行いません。

◆レースナンバー及びレースナンバーシール取り付け位置

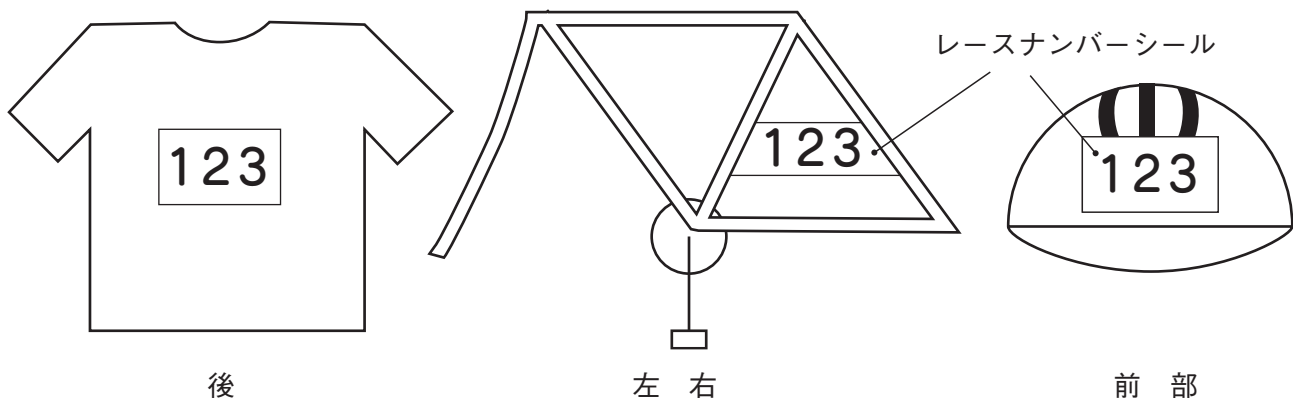
スイム

ラン・1stラン (必ず前後に取付ける)

ボディーマーキング
P.8 参照



バイク



4. 各競技について（注意事項）

リレーの部については項目9.（P.16）を参照してください。

1 スイムの部

<スイム競技>

- (1) 距離 3 km
- (2) 競技時間 AM 7:00～AM 9:10
 - ① 競技開始 Aタイプ A-1 AM 7:00 A-2 AM 7:05 Bタイプ・リレー AM 7:10
 - ② 競技制限時間 中間チェックポイント スタート後1時間10分
スイムフィニッシュ スタート後2時間
タイムオーバーの選手は、その時点でDNFとなります。
リレーの部はスキップを許可する。
- (3) 海岸のスイムスタート地点にメガネ預かり所を設置します。スイムフィニッシュ後に返却します。
- (4) **ウェットスーツは着用義務ではありません。ただし水温が22度以下の場合は着用義務とします。**
- (5) 一度上陸し通過チェックを受けてください。
- (6) 「リタイア」や「不具合が発生した場合」は泳ぐのを止め、手を頭の上で振るなどヘルプサインで意思表示してください。
- (7) フィニッシュ後、ゴーグル、ウェットスーツ等はトランジションバッグからはみ出さないように収納し、各自の荷物ラックに正しく掛けてください。
- (8) リタイア、タイムオーバーした選手は必ず、フィニッシュ地点の記録部にリタイア報告をしてください。
- (9) 警備監視体制は監視船2隻、クルーザー3隻、カヌー20艇、ライフセーバー16名（RWC〔水上オートバイ〕3艇、〔レスキューボード〕10艇）、監視・救助要員総勢60名で行います。

<スイム競技中止の場合>

- (1) 1stラン競技を実施します。
- (2) 距離 5.5 km
- (3) スタート場所、時間 1stランスタート地点（護岸道路）
Aタイプ・リレー 一斉スタート Bタイプ AM 7:50
- (4) 競技制限時間 Aタイプ・リレー AM 9:00 Bタイプ AM 9:10
- (5) ナンバーカードを**前後2枚取り付け**、スタート地点に集合してください。
- (6) 折返し地点では、アンクルバンドにて通過チェックを行います。
- (7) 1stランフィニッシュでアンクルバンドにて通過チェックを行います。
- (8) 道路幅が狭いのでキープレフトを遵守し、スタッフの指示に従ってください。

競技規則 第4条を遵守してください。（P.19）

本大会では一部を除き交通規制を設けずに競技を実施しています。

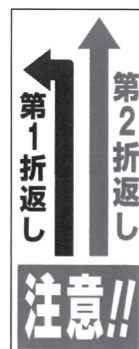
2026年4月1日より自転車の交通違反行為に対して罰則が厳格化されています。特に被側方通過車義務違反は、自転車・自動車双方に係る違反となるため、追い越し時以外はキープレフト走行を順守してください。

ただしバイク競技では特例としてトップ通過後、1時間は選手を優先して通行していますが、この優先通行ルールはAタイプのトップ通過が基準となります。Bタイプの選手には適用されません。従って特にバイクコースP120以降でAタイプのトップ選手より先行するBタイプの選手には適用されませんので、一般車両と同じく交通法規に従って通行する必要があります。

ただしAタイプのトップ選手に抜かれた後は、特例が適用されます。

2 バイクの部

- (1) 距離 Aタイプ 140 km Bタイプ 115 km
- (2) 競技制限時間 A・B・リレー 15:30 (バイク降車ライン)
ポイント通過制限時間 (A・B共通)
P203 (中山温泉癒しのAS) 13:20
P212 (山陰道側道淀江給水所) 14:30
- (3) ドラフティングは禁止。ドラフトゾーンは次の通り。
先行バイクの前輪先端から7m、横は道路幅。追越し時間は15秒以内とする。
- (4) コース上にはポイント番号、方向指示、注意看板などを設置し、競技コースを示しています。
- (5) P18 (三和緑化前) から P19 (さくら保育園前) の間については、右折ゾーンと定めています。前後の車両等に注意し、ゾーン内で右折してください。
- (6) P84手前からP85先の間(150m)は降車となります。
- (7) 公認サポートカーは、車の前後に表示がされています。
- (8) リタイヤについて ASでのリタイヤは、その場所で申告を行い、AS以外でのリタイヤは、マーシャル(テクニカル・オフィシャル以下TO)またはパトロール車に申告してください。申告した選手は、その場でレースナンバーを取り外し収容車が来るまでその場で待機してください。
- (9) バイク競技中、事故が発生した場合は、絶対その場から立ち去らず、TO・スタッフの指示に従い行動してください。
- (10) 交通渋滞緩和のため、選手を止める場合があります。
- (11) AタイプはP120で第1折返しに向かうため左折し、折返し後P120では直進します。BタイプはP120で中山温泉癒しのAS折返し(P203)に向かう為、そのまま直進します。
- (12) 停車せずボトルのみ交換する場合は徐行して受け取ってください。停車して飲食物を受け取る際は、後続の選手の動きにも注意を払い補給してください。



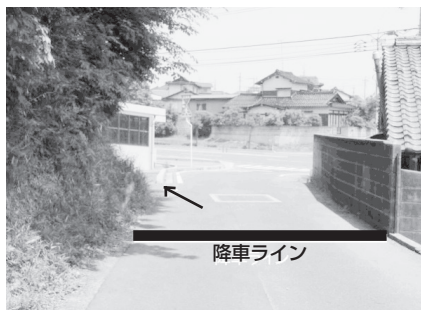
P120 看板

P84 から 85 福市地下道は乗車禁止

地下道を通行していただきます。

P84 から 85 の福市地下道の状況を示しますので参考にしてください。

降車ラインから乗車ラインまで約 150m 歩きます。



P84 付近
降車ラインから地下道入口間の歩道幅 2 m
大会日は看板で表示



福市地下道出口付近
スリップ・転倒注意
スロープ傾斜 上り約 8 度
スロープ長さ 上り約 40 m
出口を左折



乗車ライン付近
地下道出口より約 10 m 先に乗車ライン有り
乗車ライン看板で表示
歩道幅 2.5 m

競技規則 第 4 条を遵守してください。

3 ランの部

- (1) 距離 Aタイプ 35 km Bタイプ 23 km
- (2) 競技制限時間 Aタイプ 21：30 (スタート後 14 時間 30 分)
Bタイプ 19：30 (スタート後 12 時間 20 分)
- (3) ポイント通過制限時間 Aタイプ P79 境夢みなとターミナル AS 19：40
P65 弓ヶ浜展望駐車場 AS (復路) 20：40
P54 中海テレビ AS (復路) 21：00
Bタイプ P68 和田浜展望給水所 (折返し) 17：30
- (4) コースはポイント番号、方向指示、注意等の立て看板により標示されますが、交通事情、長時間にわたるコース管理の面から弓ヶ浜サイクリングロードや歩道では左側、歩道のない場所は路側帯を走ってください。
- (5) Aタイプは P79 境夢みなとターミナルで Bタイプは P68 和田浜展望給水所でそれぞれ通過チェック (自動計測) をします。
その際、**折返し確認用のリストバンドを手渡しますので必ず手首に着用してください。**
- (6) 日没後にコース上にいる選手は、エイドステーションで渡す反射タスキ又は反射バンドを着用してください。
- (7) リタイアについて ASでのリタイアは、その場で申告を行い、AS以外でのリタイアはTOまたはパトロール車に申告してください。申告した選手はナンバーカードを取り外し収容車が来るまで待機してください。
- (8) タイムオーバーの選手はナンバーカードを外し、収容車で大会本部に帰っていただきます。必ず大会の審判本部にリタイアの報告をし、アンクルバンドを返却してください。
- (9) 東山陸上競技場ゲートは 21：30 で閉鎖します。
- (10) ランコースは市街地を走るため路面上の安全は保障されておりませんので必ずランニングシューズ着用のうえ走行してください。
- (11) 同伴フィニッシュは認めますが、人数は家族または同一チームで 5～6 名まででお願いします。フィニッシュャーズストリートの合流地点のTOの指示に従ってください。

4 トランジションエリア

- (1) バイクラックには、バイク以外の物を掛けたり下に置かないでください。
- (2) バイク関連用品は、支給されたトランジションバッグにはみ出さないように収納してください。(バイクシューズはペダルへの装着可)
- (3) **支給されたトランジションバッグ以外のものを荷物ラックに掛けたり置かないでください。**

5 エイドステーション (AS)

- (1) ASについては次の通りです。
Aタイプにはバイクコース 7 カ所 (内 給水所 5 カ所) 補食を摂る事が出来る AS は P153 伯耆植田正治 AS と P203 中山温泉癒しの AS の 2 カ所です。
ランコース 16 カ所 (内 給水所 10 カ所) 補食を摂ることができる AS はランスタート AS、P54 中海テレビ AS、P65 弓ヶ浜展望駐車場 AS、P97 境夢みなとターミナル AS の 4 カ所です。
Bタイプにはバイクコース 6 カ所 (内 給水所 5 カ所) 補食を摂る事が出来る AS は P203 中山温泉癒しの AS のみ。
ランコース 10 カ所 (内給水所 5 カ所)。補食を摂る事が出来る AS はランスタート AS、P54 中海テレビ AS、P65 弓ヶ浜展望駐車場 AS の 3 カ所です。

- (2) スポーツドリンク、コーラ、水などの他、補食可能なA Sではバナナ、スイカ、オレンジ、どら焼き、おにぎり、食塩、氷砂糖などを用意しています。
- (3) バイクボトルは、バイクコースの各A Sに準備しています。(十分な数があるとは限りませんので品切れの際は、各自のボトルを利用してください。ペットボトルの使用は禁止です。)
- (4) スペシャルドリンクは、バイクコース P203 中山温泉癒しのA S (A・Bタイプとも)、ランコース P97 境夢みなとターミナルA S (Aタイプのみ)に限り受け付けます。Bタイプのランではスペシャルドリンクの受付はありません。

預託希望者は大会当日AM6:20までに各自用意したものを小袋に入れ、レースナンバーを記入して受付に預けてください。(小袋は受付に用意しています。)冷蔵・冷凍保存の対応はできません。

6 医療救急

- (1) 医療本部を大会本部の東山陸上競技場内に設置します。
- (2) 東山陸上競技場内に「マッサージテント」を設置します。
- (3) 一次救命用品はコース図に表示のメディカルテント(MT)及び救急搬送車に常備しています。また、カットバン、エアーサロンパス、コールドスプレーを配置するA S、MTがありますが、これらは無くなった時点で終了となります。
- (4) ゼロバランス協会によるテーピング施術のサービスもあります。
- (5) 熱中症対策としてアイスバスを設置します。必要性を感じた場合は利用してください。
設置場所 皆生会場、東山会場、中山温泉癒しのA S (バイク)、和田浜展望給水所 (ラン／Bタイプ折返し)、境夢みなとターミナルA S (ラン／Aタイプ折返し)

※アレルギー体質、過敏症などの特異体質や既往症など、さらには宗教上その他の理由などにより、大会医療班が緊急医療のために知っておいてほしいことがある場合は、事前に大会主催者に書面で申告してください。なおその場合、健康診断書・負荷心電図証明書などの提出を求める場合があります。

※競技に支障があると判断された場合、医師及び大会関係者が応急処置を施す必要があると認めた場合は、本人の意思にかかわらず処置を行います。

7 ペナルティ

- (1) 審判本部にてペナルティの掲示をします。フィニッシュした選手は各自確認してください。
- (2) T Oよりペナルティをうけた選手は1ペナルティにつき10分のタイムペナルティを加算します。

8 リタイア (DNF) 及び失格 (DQ)

リタイア (DNF)

- (1) 選手はレース中、常に体調を気遣い、無理のないペースで競技を続けてください。選手は、体調に不安を感じたときは、自己の判断により速やかにDNFの申し出をしてください。
- (2) 医師、大会スタッフによりリタイアの宣告を行うことがあります。この場合は、選手の意思にかかわらず『DNF』となります。
- (3) スイムでリタイアの場合
 - ・手を頭の上で振るなどヘルプサインで意思表示をしてください。最寄りのスタッフが救助に向かいます。
 - ・選手は、その場で『DNF』となります。
- (4) A Sでリタイアの場合
 - ・選手は、A Sの責任者にリタイアの申し出をしてください。
 - ・A Sの責任者は、その選手のナンバーカードを回収します。

- ・選手はその場で『DNF』となります。
- (5) AS以外でリタイヤの場合
 - ・選手はコース上のTOまたはパトロール車にリタイヤの申し出をしてください。
 - ・TO又はパトロール車は選手のナンバーカードを回収します。
 - ・選手はその場で『DNF』となります。
- (6) 各競技に設定されている制限時間内にポイントを通過できなかった場合、DNFとなります。

〈DNF 後〉

- ① DNFした選手は、収容車で大会本部まで帰ります。収容車が来るまでその場所で待機してください。
- ② その他、選手は大会スタッフの指示に従ってください。
- ③ スイム競技でのDNF対象選手は皆生会場審判部、バイク競技以降は皆生・東山両会場いずれかの審判本部へアンクルバンドを必ず返却してください。返却していない選手には実費5,000円を請求します。

失格 (DQ)

- (1) 競技規則違反を行いペナルティを複数回受けた場合や、スポーツマンシップに反する著しい違反を行った場合は、失格 (DQ) となります。
- (2) チェックポイント不通過の選手は DQ となります。

9 リレーの部

- (1) 3人一組によるリレー方式で3競技を行います。
 - (2) 3競技のルールは、個人のルールと同様です。
 - (3) リレーはアンクルバンドにより行います。
 - (4) 次走者へのリレーは、定められた [リレーゾーン] 内で行います。(バイク、ラン共通)
 - (5) [リレーゾーン] では次走者は着替えを済ませてスタンバイしてください。
※リレーの部には荷物ラックは用意されていません。荷物は体育館内に保管してください。
- ◎スイムパートからバイクパートへ
7時10分にコールを行います。バイク走者は必ずそれまでに [リレーゾーン] に集まってください。バイクは個人の部と同様にセットしてください。(コールに遅れるとペナルティ若しくは DQ となります。バイク、ラン同様) ウェアの背中若しくはレースナンバーベルトにナンバーカードを取り付けて持参してください。
- ◎バイクパートからランパートへ
11時00分にコールを行います。ラン走者は必ずそれまでに [リレーゾーン] に集まってください。ウェア若しくはレースナンバーベルトの前後にレースナンバーをつけて持参してください。
 前走者がリタイヤまたはタイムオーバーで DNF となった場合は、次走者以降は SKIP により競技を行うことが出来ます。ただしチームは DNF 扱いとなります。DNF となったチームのアンクルバンドは新たなものを装着して競技を行います。
- ◎スイムパートでのリタイヤまたはタイムオーバーの場合
 9時10分にバイク走者が [リレーゾーン] よりスタートします。
- ◎バイクパートでのリタイヤまたはタイムオーバーの場合
 15時40分にラン走者が [リレーゾーン] よりスタートします。
- (6) リレーの選手は競技を行っていない時は、一般の応援者と同等の扱いとなります。バイクセット、コール、リレーゾーンの待機以外はトランジションエリア内には入れません。

5. 緊急時対応マニュアル

- ①大会前日の予報で「**熱中症特別警戒アラート**」が発令された場合は大会を中止します。
- ②雨天決行とします。ただし、荒天等の場合によっては、コースの短縮又は競技を中止します。
- ③警報（競技に影響があるもの）が発令された場合は、直ちに全競技を中止します。
- ④雷雲が接近した場合には周辺の状況に十分注意し、雷の発生が疑われる場合は落雷に対する注意の呼びかけを行います。

スイム競技

競技中に中止が決定された場合

ライフセーバー及び関係者の指示に従い、消波ブロックの間に向かって泳ぎ、砂浜に上陸してください。※スイムが途中で中止となった場合は、スキップしバイク競技より再開します。

バイク競技

競技中に中止が決定された場合

緊急避難箇所に退避してください。

緊急避難箇所

各 AS、米子精工（P164 付近）、浅田建設（P182 付近）、大山青果物集出荷予冷センター（P202 付近）

選手及びバイクの回収

競技中止となった場合は、選手は緊急避難箇所にとどまっておいってください。

輸送部により順次回収してきます。

回収は選手とバイクは別々に行います。

バイクについての取り扱いは、トラックで回収を行います。その際関係者がバイクの管理に残ります。バイクの輸送には細心の注意を払いますが輸送中の瑕疵等についての責任は負いません。

ラン競技

競技中に中止が決定された場合

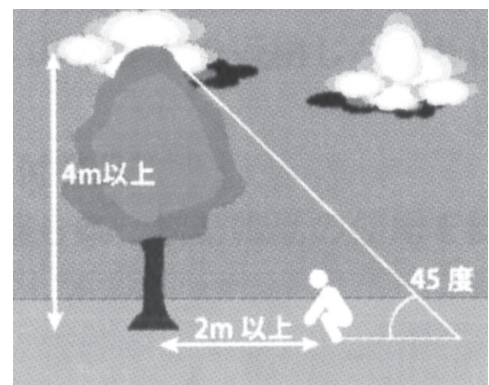
緊急避難箇所に退避してください。

緊急避難箇所は各 AS となります。

落雷対策

安全な避難場所まで距離があるときには、4メートル以上の高い木若しくは電柱の根本から2～3メートルの場所で低い姿勢をとりましょう。十分に離れないと木や電柱から電気がより流れやすい人間に移って、非常に危険です。

どうしても、避雷のための木が見つからない場合には広い場所で速やかにうつぶせになったほうが被雷の可能性は低くなります。



6. 表彰及び支給品

1 表 彰

- (1) 男子総合の部 Aタイプ1位～8位 Bタイプ1位～3位
- (2) 女子総合の部 Aタイプ1位～6位 Bタイプ1位～3位
- (3) 男子年代別の部 各部1位～3位
 - ① 19～24歳 ② 25～29歳 ③ 30～34歳 ④ 35～39歳
 - ⑤ 40～44歳 ⑥ 45～49歳 ⑦ 50～54歳 ⑧ 55～59歳
 - ⑨ 60～64歳 ⑩ 65歳以上
- (4) 女子年代別の部 各部1位～3位
 - ① 19～24歳 ② 25～29歳 ③ 30～34歳 ④ 35～39歳
 - ⑤ 40～44歳 ⑥ 45～49歳 ⑦ 50～54歳 ⑧ 55～59歳
 - ⑨ 60～64歳 ⑩ 65歳以上
- (5) クラブ対抗の部（鳥取県知事杯） 1位～3位
- (6) 特別賞（トワライズ賞）
- (7) ベストアスリート賞 最高齢完走者男女各1名
- (8) 全国ふるさと対抗リレー 1位～3位

※男女各総合の部入賞者は年代別表彰対象から除外します。

2 参加賞

- ① 皆生大会オリジナルTシャツ
開会式（受付会場）にて渡します

3 完走記念品

- ① 特製バスタオル
ランのゴール時に渡します

※リレーの部で、スイム、バイクの完走者には閉会式で渡します
式典に欠席の場合は原則着払いにて送付します（送付不要の場合は事前に電話かメールでお知らせください）

第44回全日本トライアスロン皆生大会競技規則

本大会は TRIJ 競技規則（2026 年版）並びに道路交通法に基づき行う。

第1章 総則

（規則の定義等）

- 第1条 この規則は、全日本トライアスロン皆生大会競技規則（以下、ローカルルールという。）といい、全日本トライアスロン皆生大会（以下「皆生大会」という。）の大会出場者（以下「選手」という。）は、この大会規則の定めるところにより競技しなければならない。
- 2 大会規則はトライアスロンジャパン競技規則（以下「TRIJ 競技規則」という。）及び、TRIJ 競技規則に定めがない事項及び皆生大会の特性上必要、且つ重要な事項を定めたローカルルール等からなる。

（疑義の決定）

- 第2条 大会競技規則に定めのない事項及び疑義が生じた場合には、大会競技委員会がこれを決する。

（競技変更及び中止）

- 第3条 大会競技委員会は、気象条件、その他の条件等により安全が十分に確保できないと判断した場合には、競技開始以前又は競技中であっても、競技変更又は中止することができる。

第2章 共通規則

（交通規則の遵守）

- 第4条 本大会は公道を利用して行われる大会であるため、特にキープレフト走行。信号機の遵守及び一時停止・停止線については法規に従わなければならない。ただし警察官の誘導により通過可能となる場合がある。

（コース及びルールの理解）

- 第5条 交通違反及び事故の責任は、選手個人が負うものとする。

（競技の続行）

- 第6条 警告又は失格の宣言を受けた場合であっても、審判（TO）の指示により競技を続行することができる。ただし、最終判定は、競技終了後審判長からくだされるものとする。
- 2 大会競技委員会は、過度の疲労、事故、競技力不足などにより競技続行に支障があると判断した場合には、競技を中止させる権限を有する。
- 3 中止宣告を受けた選手は直ちに競技を中止しなければならない。
- 4 選手が競技を中止した場合には、リタイア（DNF）、失格（DQ）などの理由にかかわらず、審判員又は大会スタッフに申出るとともに、選手若しくは代理人は、大会審判部に申告し、アンクルバンドを返納しなければならない。

（付帯品）

- 第7条 携帯電話・スマートフォンは緊急時のみ、停止している状態での使用を認める。ただし、使用に関しては個人の責任において行う。

- 2 動画・写真撮影・音楽プレーヤー・Bluetooth イヤホンについては使用することは禁止する。
- 3 ナビ付きサイクルコンピュータ及びスマートフォンはサイクルコンピュータとしてのみ使用することが出来る。

(制限時間)

第8条 コース内にチェックポイント、スイム2ヶ所、バイク3ヶ所、ラン4ヶ所設ける。

- 2 制限時間内に関門を通過できない選手はDNFとする。
- 3 制限時間は別途もうける。

第3章 登録・説明会等

(開会式及び競技説明会)

第9条 開会式及び競技説明会には、必ず選手本人が出席することとし、欠席した場合には、皆生大会の出場を認めない。リレーの部は1名以上が出席することとするが、チーム全員が出席することが望ましい。

- 2 開・閉会式会場・競技説明会場並びに競技会場は、禁煙とする。

(最終登録及びボディーマーキング)

第10条 大会当日の最終登録及びアンクルバンドの装着を受けない場合には、皆生大会に出場できない。

- 2 ボディーナンバリングは腕に行う。

第4章 スイム競技

(入水チェック)

第11条 入水チェックポイントを通過することにより行う。

(スタート方式及び禁止行為)

第12条 スタート方式はスタンディングスタートとする。

(タイムチェック)

第13条 スイムフィニッシュ記録テント及び中間チェックポイントでは、タイムチェックを受けること。

(スイムキャップ)

第14条 大会主催者が支給したスイムキャップを必ず着用する。

(安全の確保)

第15条 ウェットスーツの着用は自由です。(水温が22℃以下の場合は着用義務)

- 2 危険回避等でコースロープ、ブイ、監視船等につかまって競技を小休止することは認めるが、それを使い移動することは禁止とする。
- 3 何らかの不具合や救助を必要とする場合には、片手を頭の上で振るなどヘルプサイン又は声などを出して意志表示をしなければならない。

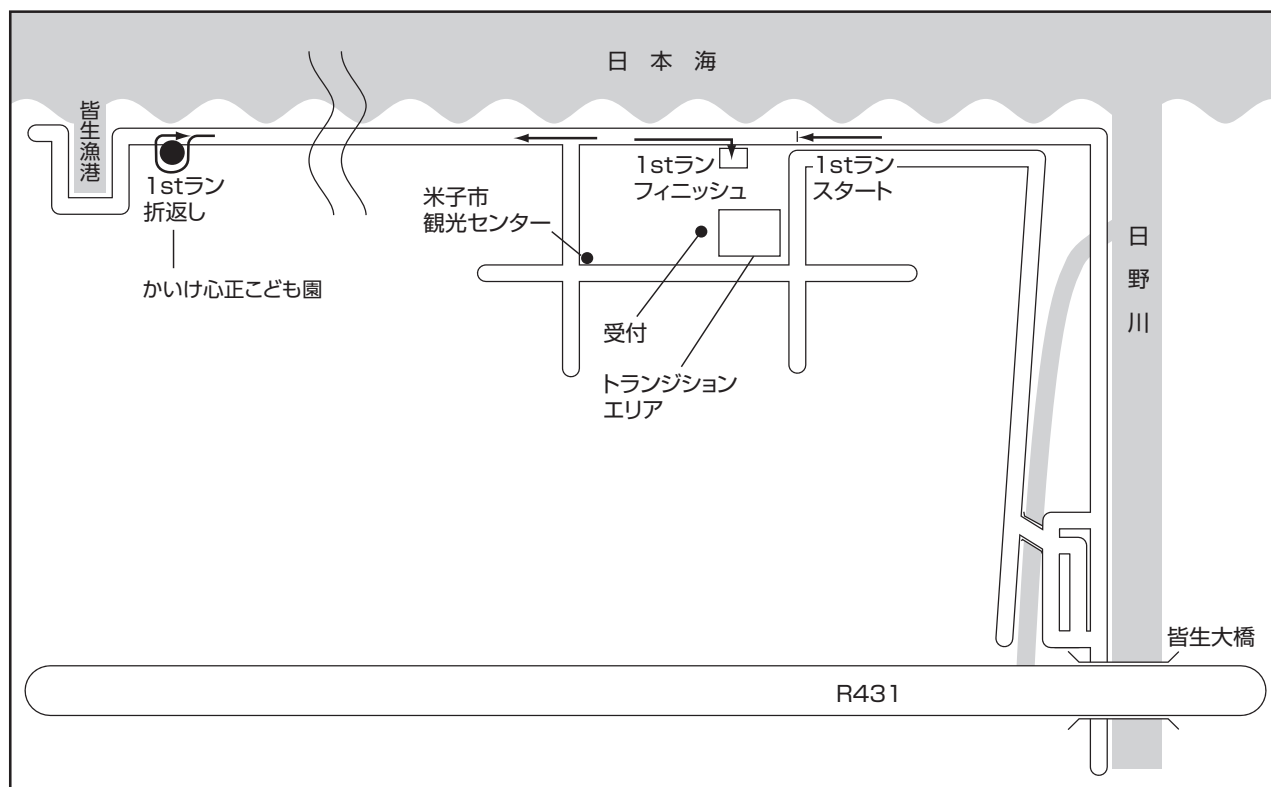
(立入り禁止)

第 16 条 スイムスタートエリア及び中間チェックポイントエリア内には、選手・TO・関係スタッフ及び大会本部の許可を得た者以外は立ち入り禁止とする。

☆第 5 章 1st ラン

(実施及びスタート方法)

第 17 条 中止基準により、スイム競技を中止した場合には、1st ラン（約 5.5km）を実施する。
その場合、スタートの 10 分前にスタート地点に整列する。



(タイムチェック並びに制限時間及び測定場所)

第 18 条 1st ランフィニッシュ記録ゲートでは、タイムチェックを受ける。
折り返しチェックポイントにて、タイムチェックを受ける事。

第 6 章 トランジションエリア

(持ち込み制限及び収納)

第 19 条 トランジション内への持ち込みは、バイク及び競技に必要な用具を入れたトランジションバッグのみとし、その他の荷物は体育館に置く。

2 ウェットスーツ、ヘルメット等の用具は、トランジションバッグに収納する。

第 7 章 バイク競技

(バイク競技時間及び制限時間測定場所)

第 20 条 バイク競技終了時間は A タイプはスタート後 8 時間 30 分後、B タイプは 8 時間 20 分後とし、その測定場所は、バイクフィニッシュ降車ライン地点とする。

(ドラフティング)

第 21 条 ドラフティングゾーンは 7m、追い越し時間は 15 秒以内とする。

(サポート)

第 22 条 バイクのパンクなどの修理、調整、故障は選手各自の責任において行う。ただし公認サポートカー及び固定サポート員のサポートは認めるが、すべて直るものではない。

2 固定サポート員は淀江古代 A. S に置く。

3 公認サポートによる修理は有償、また使用した部品代金も実費を選手の負担とする。

(乗車禁止区間)

第 23 条 乗車禁止区間は次のとおりとする。

2 P84 福市地下道手前降車ラインから P85 福市地下道出口先乗車ラインまで。

(競技中の事故)

第 24 条 バイク競技中、事故が発生した場合は、その場から立ち去らず、TO・スタッフの指示に従い行動しなければならない。

(警音器 (ベル) の装着義務)

第 25 条 競技バイクは警音器 (ベル) を備えなければならない。

第 8 章 ラン競技



(コース及び規制)

第 26 条 サイクリングロードや歩道では左側、歩道のない場所は路側帯を走らなければならない。

2 日没以降は、スタッフが支給する、反射ブレスレット等を身につける。

(フィニッシュ)

第 27 条 総合フィニッシュは、他の選手の妨げとならない範囲内で、同伴、手つなぎフィニッシュ、花束等のプレゼントフィニッシュを認める。尚、一度フィニッシュした選手が、他の選手と同伴フィニッシュする場合は、必ずレースナンバーは外す。

2 同伴フィニッシュは、フィニッシュゲート手前 50m 付近において同伴者の合流地点を設置する。合流地点以外からの合流は禁止する。

第 9 章 審判員 (Technical Officer/TO)

(審判員)

第 28 条 TRIJ 公認審判員 (TO) 及び大会競技委員長が認定した皆生ローカル TO とする。

広域図 (どらドラパーク米子会場周辺)

